

## 金融ビジネスユニット

スマートフォンによるモバイル決済、仮想通貨に代表されるFinTech<sup>※1</sup>関連サービスの台頭など、金融サービスにおけるデジタルイノベーションが加速しています。日本の金融機関もグローバル競争力の強化と事業拡大に向け、より利便性に優れ、かつセキュアなITを活用したサービス高度化に取り組んでいます。金融機関の高信頼なシステム構築・運用を支えてきた日立は金融ビジネスユニット(以下、BU)を中心に、お客さまと次世代型サービスの協創に力を注いでいきます。

※1 FinanceとTechnologyを掛け合わせた造語



金融ビジネスユニット CEO  
兼 公共ビジネスユニット CEO

山本 二雄

### ■デジタル金融イノベーション時代に新たなサービス協創に力を注ぐ

いま金融業界では、ビッグデータやAI<sup>※2</sup>といった先端的なITと金融サービスを融合させるFinTechへの注目など、デジタル金融イノベーションに向けた動きが活発になっています。これらへの対応にはお客さまとの協創によるソリューションの具体化が欠かせません。日立はこれに対応すべく、2016年4月、北米シリコンバレーに研究開発組織「金融イノベーションラボ」を設置しました。ここでは現地の先端企業と連携し、広く社会イノベーションの可能性を秘めた中核技術となるブロックチェーンなどの研究開発を行うほか、金融機関のお客さまと課題を共有しながら、それぞれの強みを顕在化させる新たなビジネスモデルの創造を支援する取り組みを進めています。

一方、国内ではスマートフォンなどのデバイスを利用した金融チャネルソリューションを強化しています。例えば「日立モバイル型キャッシュカードサービス」は、キャッシュカードの情報をスマートフォンに格納することで、エンドユーザーの利便性を向上させつつ金融機関の運用コストを低減するソリューシ

ョンです。無人店舗化や郊外店の効率化など、多様な店舗戦略に対応した次世代店舗戦略ソリューションによる金融機関経営の全体最適化にも力を入れています。

※2 Artificial Intelligence: 人工知能

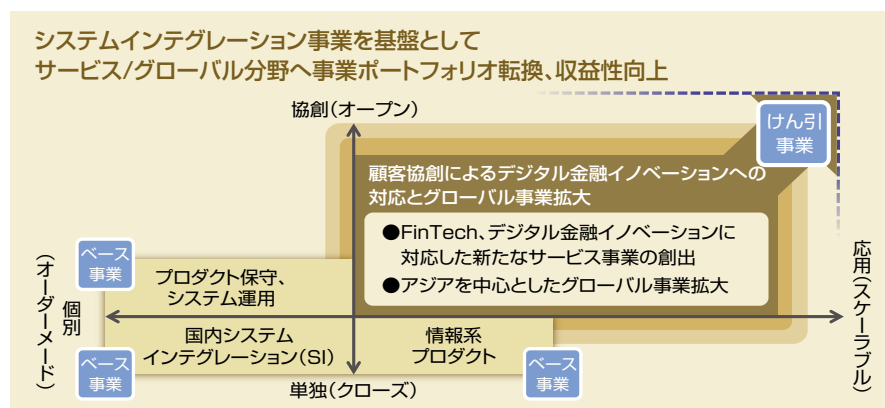
### ■アジアを中心としたグローバル事業の拡大

金融BUの事業フィールドはグローバルにも拡大しています。メガバンクのお客さまは投資を成長市場であるアジアを中心にシフトしており、また東南アジアやインドなどでも地場金融機関が着実に成長しています。金融BUは他のBUとも連携しながら、日系金融機関のお客さまのアジア進出をシステム開発やサービスで支援する一方、地場金融機関をユーザーに持つ有力ITベンダーと連

携し、日系・日系以外双方の幅広い金融機関に対するワンストップサービスを確立する戦略を進めています。

### ■大規模プロジェクトの実績と信頼性

日立は長年にわたり、金融機関のさまざまなシステム開発を手がけ、大規模基幹システムの構築でも多くの実績を持っています。お客さまからは「日立はどんなに困難なプロジェクトでも最後まできちんとやり遂げてくれる」「信頼性とサポート力も高い」との評価をいただいています。これを励みに、今後も基幹システムのリプレースやオープン化といった要望に応えながら、BU連携による付加価値の高いソリューション、IT活用による先端的な金融サービスの協創に取り組んでいきます。



金融ビジネスユニットの事業方針

お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 金融ビジネスユニット  
<http://www.hitachi.co.jp/finance/>